

## 2026年第1回新潟競馬特別競走名解説

### <第1日>

#### ○わらび賞

わらびは、コバノイシカグマ科のシダ植物。日当たりのよい山地に生え、早春、先端がこぶし状に巻いた新芽が地下の根茎上から直立して芽吹く。根茎は砕いてデンプンとして用いられ、このデンプンからわらび餅が作られる。

#### ○胎内川特別

胎内川（たいないがわ）は、新潟県胎内市を流れる延長39.1kmの川。飯豊山地の藤十郎山に源を発し、北西に流れ、途中で複数の支川と合流し日本海へ注ぐ。

#### ○三条ステーキス

三条（さんじょう）は、新潟県中央部の市。加茂市と燕市の上に位置する。泉州堺（大阪府堺市）、播州三木（兵庫県三木市）と並ぶ日本三大金物町であったため、現在でも金属加工を中心とした産業が盛んである。

### <第2日>

#### ○咲花特別

咲花（さきはな）は、新潟県五泉市を流れる阿賀野川の溪谷沿いにある温泉地。泉質は硫黄泉で、溪谷美を眺めながら温泉に浸ることができる。

#### ○邁進特別

邁進（まいしん）は、ひたすら目的に向かって進むこと。新潟競馬場の直線コースを、競走馬がひたすらゴールを目指して進むイメージから名付けられた。

#### ○越後ステーキス

越後（えちご）は、新潟県の旧国名。かつて五畿七道の北陸道を構成していた七ヶ国のひとつで、現在の新潟県の佐渡を除く全域にあたる。越国（こしのくに）が、越後・越中・越前の3国に分けられたことにより成立した。

### <第3日>

#### ○ゆきつばき賞

ゆきつばきは、ツバキ科の常緑低木。新潟県の県木に指定されている。日本海側の多雪地帯の山地に自生する。ヤブツバキに似ているが、花卉はやや薄く離生するものが多い。

## ○粟島特別

粟島（あわしま）は、新潟県北部にある日本海に浮かぶ島。周囲約 23km。手付かずの自然が多く残り、自然散策やバードウォッチングが盛ん。また、観光とともに漁業が基幹産業となっており、中でも明治期に始まった鯛の大謀網漁は粟島の名物となっている。

## ○駿風ステーキス

駿風（しゅんぷう）は、駿馬の「駿」と春風の「風」とを掛け合わせた造語。新潟競馬場の直線コースを駿馬が風のように走るイメージから名付けられた。

## <第4日>

### ○荒川峡特別

荒川峡（あらかわきょう）は、新潟県北部の岩船郡を流れる荒川の上流の峡谷。溪口は荒川峡温泉郷が広がっている。また、並行して走る国道113号線は、新緑シーズンから紅葉シーズンまでドライブコースとして人気がある。

### ○五泉特別

五泉（ごせん）は、新潟県下越地方にある市。阿賀野川中流域に位置する。織物産業が盛んで、五泉平と呼ばれる袴地が有名。京都の丹後、滋賀の長浜とともに全国三大白生地産地に数えられている。

### ○谷川岳ステーキス（L）

谷川岳（たにがわだけ）は、群馬県と新潟県の境に位置する標高1,977mの山。一ノ倉岳・万太郎山・茂倉岳などとともに谷川連峰を形成している。険しい岩壁や複雑な地形が入り組んでおり、ロッククライミングのスポットとしても有名。

## <第5日>

### ○石打特別

石打（いしうち）は、新潟県南魚沼市の一地区。深雪地帯で、冬はスキー場に多くの観光客が訪れる。

### ○中ノ岳特別

中ノ岳（なかのだけ）は、新潟県南東部、越後山脈中に位置する標高2,085mの山。越後駒ヶ岳、八海山とともに越後三山を形成し、本山はその最高峰。急峻な岸壁、鋭い山稜、越年性雪渓のある山容が特徴。

## ○新潟大賞典（GⅢ）

本競走は、1967年から1978年にかけて実施されていた『福島大賞典』（1978年は『新潟ステークス〈第12回福島大賞典〉』の名称で実施）の廃止に伴い、1979年に創設された重賞競走。当初は芝2000mのハンデキャップ戦であったが、1984年に2200mに延伸された。1995年から再び2000mに変更され、実施されている。

## <第6日>

### ○飛竜特別

飛竜（ひりゅう）は、空を飛ぶ竜のこと。「飛竜天に在り」とは聖人が天子の位にあって、万民がその恩沢を受けるという意味である。

### ○信濃川特別

信濃川（しなのがわ）は、新潟県と長野県にまたがる川。延長約367kmは日本最長。関東山地の甲武信ヶ岳に源を発し、長野盆地、越後平野を経て、新潟市で日本海に注ぐ。上流部のある長野県では「千曲（ちくま）川」と呼ばれる。古戦場として有名な川中島は、千曲川と同じく、信濃川水系の一部である「犀（さい）川」の合流地点に位置する。

### ○弥彦ステークス

弥彦（やひこ）は、新潟県中部にある村。同村と長岡市にまたがってそびえる弥彦山は、佐渡弥彦米山国定公園の中核をなす標高634mの山であり、弥彦神社の霊峰である。弥彦神社の燈籠神事は、1978年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

## <第7日>

### ○はやぶさ賞

はやぶさは、ハヤブサ科の鳥。背面が青灰色で、腹面は白地に褐色の斑点があり、目の下に暗色斑が伸びている。くちばしは鋭く曲がり、翼は長くて先が尖っている。また、急降下時の速度は時速300kmに到達すると言われている。

### ○尖閣湾特別

尖閣湾（せんかくわん）は、佐渡市西部の小湾の総称。佐渡弥彦米山国定公園に属する。海底火山の噴火により隆起した段丘崖が海食を受け、外海府海岸の景勝地となっている。

世界的に有名なノルウェーのハルダンゲル・フィヨルドの峡尖美に似ていることから、それを直訳して名付けられた。

## ○大日岳特別

大日岳（だいにちだけ）は、新潟県北部に位置する標高2,128mの山。飯豊山地の最高峰。近くには飯豊山、北股岳などの2,000m級の山々が連なっており、飯豊連峰と呼ばれる。

## <第8日>

## ○二王子特別

二王子（にのうじ）は、新潟県の北東部、胎内川上流に位置する標高1,420mの二王子岳のこと。飯豊連峰に属し、溪谷美で知られる胎内川などとともに胎内二王子県立自然公園を形成している。

## ○火打山特別

火打山（ひうちやま）は、新潟県南西部に位置する標高2,462mの山。頸城（くびき）三山の最高峰で、妙高戸隠連山国立公園の一部を形成する。名は、山容が火打石に似ていることに由来する。

## ○韋駄天ステークス

韋駄天（いだてん）は、仏教の一神。仏舎利を盗んだ鬼を追いかけて捕まえた挿話から、「足の速い人」の意で用いられる。